

前略

11月20日付の手紙で、沖縄に日本美術会の沖縄写生旅行に行ったことを報告し、辺野古の絵を添付しました。そして、次のように書きました。

沖縄の辺野古移転賛成派は「新たな基地建設で土建の仕事が出来て経済が潤う」と思っているようですが、この米軍基地を無くし、この美しい岬を中心にリゾート施設を作り、国民のリゾート利用を促進する政策(欧米のように4週間のバカンスを当たり前にする事)を執れば、雇用も増え、自然も守ることが出来て、一石二鳥と思いました。

これにはある方から「リゾート施設を作るのには反対」との意見をいただきました。それを踏まえて、若干修正して赤旗編集局に投書として送ったら、11月30日付の赤旗日刊紙に次のように掲載されました。本来、読者の投稿は500字までなので、それに絵を付けて送るというのはルール違反で、スペースもそれだけ多く取ってしまうので、編集者は苦勞されたと思います。それで、紙面の都合と思いますが、いくつか私の

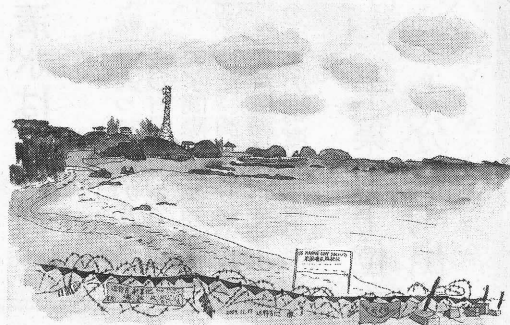
原稿から若干の変更削除があります。

「米軍関連の建設工事で潤っている建設会社経営者がすくなくらいて」の「経営者」が削除されています。

最後に「その為の建設工事こそ真に『建設的な』ものになるのではないのでしょうか？」の一文があったのですが、削除されました。

2009.12.04 山下 徹

美しい浜には  
鉄条網が遮る  
2009.11.30  
横浜市 山下 徹 (63歳)  
アンデパンダン展などを主催する日本美術会の沖縄写生旅行に参加し、辺野古に行ってきた。写生した絵にあるように、キャンプ・シユワプのある岬は、とてもなかなか場所です。水はきれいで、美しい浜が岬まで続いています。思わずそちらに進もうとすると、鉄条網が行く手を遮ります。  
そうです、この浜は米



軍基地で水陸両用戦車などの上陸演習が行われ、日本人は入れないので、普天間基地の移転のために、既存の住宅など

の移転工事でしょうか、建設の音が聞こえます。鉄条網には普天間を辺野古に移転する案への反対の旗、ハンカチがたくさん結びつけられていました。沖縄では、米軍関連の建設工事で潤っている建設会社が少なからずいて、普天間の県内移転の推進派と聞きました。でも、キャンプ・シユワプを取り戻したら、この岬一帯は自然を生かして、国民がじっくり休暇を楽しむ場所になるのではないのでしょうか？